

# 第55回 在宅ケアネット渋川 講演会レポート

〔日時〕 6月10日(木) PM19:00~PM20:00 〔会場〕 プレヴェール渋川

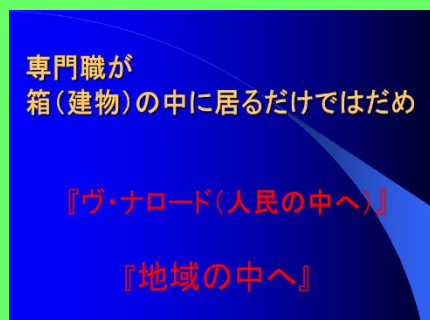
(演題) 『地域ネットワークが地域のいのちと健康を支える時代へ』

(講師) 佐久総合病院 副院長 <sup>きたざわ</sup> 北澤 <sup>あきひろ</sup> 彰浩 先生

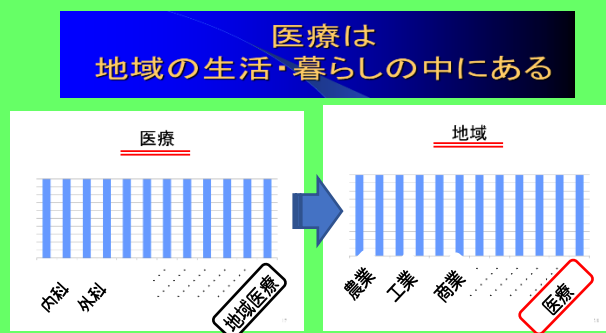


職 種	人数(人)
医師、歯科医師、薬剤師	9
看護師・保健師	11
PT/OT/ST	12
ソーシャルワーカー/相談員	1
ケアマネジャー	4
事務(行政含む)	3
その他	2
合計	42

Web参加 33ヶ所



講演資料より抜粋



佐久総合病院といえば、地域に根ざした医療に取り組む病院として知っている方も多いと思います。講演1時間ではあっという間に終わってしまい、もっといろいろなお話を聞きたくなりました。参加者の方の反響も大きかったのでいつもより多めに感想を抜粋します。

〔参加者の感想 (一部抜粋)〕

- ☆“グ・ナロード”感銘 とにかくおもしろかった。そんな最後を迎えたい。
- ☆地域包括ケアの目的が本来あるべきものとズレていないか考えさせられました。
- ☆自分の今の仕事をみつめ直す機会となった。「本人主体」ととても大切だと思った
- ☆とてもよかった。感動しました。

〔参加者の感想 (一部抜粋)〕

- ☆地域の医師が自宅へ往診する事で患者の生活を知り、患者に寄り添い、生活の中の一部として医療があり、本人本位の生活を支えられる事が素晴らしいと思った。
- ☆地域医療についての理解が深まった。医療が農業や商業と共にその一つといった考え方には感動があった。
- ☆こころづもりの大切さを感じました。(中略) 本人の希望・思いに寄り添って支援していける一員になれるよう仕事と向き合っていきたい。患者様と向き合っていきたいです。
- ☆地域住民の目線に対応していることがよくわかりました。特に病院祭では、住民にわかりやすい表現を行うことに力をいれていることに感動しました。